

家庭内での事故防止について

2024年もあとわずかとなり、年末年始の準備に入る方も多いのではないのでしょうか。実家に帰省したり、子どもや孫が遊びに来たりする機会も増えると思いますが、普段子どものいない環境の家には子どもにとって危険な要因が数多く存在しているものです。

今月は子どもの事故発生事例について発生件数の多い順に掲載しますので、いま一度注意していただき、火事や事故のない年末年始を過ごしましょう。

子どもの事故発生事例

- 1位 ころぶ・・・慣れない家の段差、濡れた床など【足元にも気配りを！】
- 2位 おちる・・・階段や窓、ベランダなど【子どもはとにかくのぼりたい！】
- 3位 たべる・・・たばこ、薬、電池など【手の届かないところに移動！】
- 4位 ひっかける・・・カーテンのひもなど【ひも付きの物は外すか届かない位置に！】
- 5位 ぶつかる・・・机やテーブルの角など【コーナーガード等でけがの防止を！】
- 6位 やけど・・・アイロン、ボイラー、やかんなど【子どもが近づかないように！】
- 7位 はさむ・・・窓、ドア、引き出しなど【危険な箇所は鍵をかける！】
- 8位 きる・・・包丁、カッター、カミソリなど【子どもが触れない場所に保管！】
- 9位 ささる・・・ペン、歯ブラシ、ヘアピンなど【整理整頓を心がける！】
- 10位 おぼれる・・・お風呂場、バケツなど【水深が浅くても溺れます！】

救急出場状況

(10月分)

一般負傷 1件(1人)
急病 9件(9人)
交通事故 1件(3人)

10月計 11件(13人)
累計 183件(159人)
※()内は搬送人員



野生動物対策の状況

農林課林業振興室
野生鳥獣専門員
56-2174

エゾシカ

にぎやかだった繁殖行動も下火になり、シカたちの気配がやや薄く感じられるようになりました。例年のことながら、秋のオスの激しく刹那的な躍動は一抹の哀愁を帯びて、実に鬼気迫るものがあります。



他のオスの角で負傷し死亡したオスシカ (字中央 11月30日)

10月のシカ駆除は38頭で、うち30頭がオスでした。メスがいっそう身をひそめるのとは逆にオスは大胆になり、シカ同士の闘争や交通事故でも命を落としてしまいます。

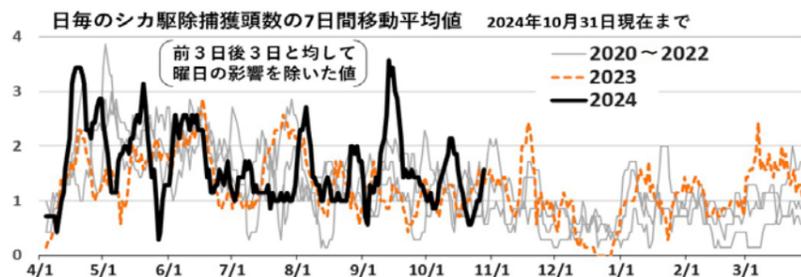
シカの捕獲数は季節により変動します。捕獲の態勢は同じで、季節ごとの生態の違いにより捕りやすさが変わるためです。月毎にまとめると、過去数年間、春多く冬へ向け下降するの通例でしたが、去年と今年はそうした傾向がやや薄まっています。日毎のまとめ(下左図)で見ると、今年は「1」を下回らない日が多く、またゼロに近づく日が少ないことから、ほぼ毎日に近い頻度で捕獲できていることが読み取れます。

ヒグマ

時折の目撃情報はあつものの、目立った動きはなく、昨秋とは対照的な静けさです。当面、林内の痕跡に注目して動静の把握に努めていきます。

◆猟区の入猟対応について

11月に入っても捕獲効率が低い状況が続いていますが、事故なく堅実に入猟対応を進め、好評をいただいております。



地域とともに

コミュニティ・スクール情報
～占冠中学校～
教育委員会学校教育担当 56-2182

販売実習のご紹介

本校2年生の森敬太さんは、村内で開かれた2つのイベントで販売実習を行いました。実際にお客さんと対話し、コミュニケーション能力を高め、将来の就労に向けた実践を積むことを目的としています。

保健福祉センター「ノノ」で開かれた「ふれあい広場」

9月7日(土)に「ふれあい広場」が開催されました。そこでは、敬太さんがデザインしたイラストをプリントしたエコバッグを販売しました。販売実習は初めての試みでしたが、たくさんの練習を積み重ね、その日を迎えました。当日はエコバッグ100個を完売し、お客さんから「敬太さん頑張ってるね!」「エコバッグが素敵だね!」と励ましや応援の声をたくさん頂きました。



占冠村紅葉まつり

10月6日(日)に開かれた占冠村紅葉まつりでは、「もりのけいちゃん工房」として出店し、手作りのキーホルダーやフォトフレームなどを販売しました。特に人気があったのは、購入者の名前を入れることができるレジン(樹脂)のキーホルダー。購入していただいた方には、制作した商品を随時、お届けしております。当日は、大勢のお客さんに囲まれ大盛況でした。想像以上に商品が売れ、制作が追いつかないのがうれしい悲鳴です。



村内イベントでの販売実習は初めての試みでしたが、地域や保護者の皆さまからのご支援やご協力があり、生徒はかけがいのない素敵な経験を積むことができました。また、地域の皆さまからの温かい励ましや応援が、ふるさとを愛し地域に主体的に関わる生徒の育成につながると改めて感じることができました。

ご来場いただいた皆さま、販売に当たりご支援、ご協力いただきました皆さま、地域の皆さま、ありがとうございました。

こちら駐在所です

占冠駐在所
56-2110

飲酒運転の根絶 ～「さめたはず…」その選択が車を凶器に変える～

飲酒運転は悪質な犯罪!

飲酒は安全運転に必要な情報処理能力、注意力、判断能力を低下させ、重大事故につながる危険を高めます。一人一人が「飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さない」ことを強く意識して、北海道から飲酒運転を根絶しましょう。

また、二日酔いで運転も「飲酒運転」になります。アルコールチェッカーなどを使用して身体にアルコールが残っていないことを確認しましょう。

飲酒運転は、運転者以外も処罰の対象!

飲酒運転は、運転者だけでなく、運転者以外の人にも重い処罰があることを知っていますか。車を運転する恐れのある人にお酒を提供したり、お酒を飲んでいる人に車を提供したり、飲酒運転の車に同乗した場合は、飲酒運転と同様に処罰の対象になります。

「ハンドルキーパー運動」で飲酒運転防止!

ハンドルキーパー運動とは、仲間と車で飲食店に行く場合はあらかじめお酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決めて、その人が仲間を自宅まで送り届けることです。お酒を提供する飲食店では「来店客が車で来ているか」、車で来ている場合は「ハンドルキーパーは誰なのか」を確認して、飲酒運転を防ぎましょう。

飲酒運転情報の提供を!

北海道警察では、悪質な飲酒運転を根絶するために「飲酒運転ゼロボックス」による飲酒運転情報や、飲酒運転根絶に向けたアイデアを受け付けておりますので、皆さまのご協力を願います。

